

若者・女性にも選ばれる鳥取県を目指して①

都道府県版ジェンダー・ギャップ指数2025

行政🏆全国1位（4年連続）

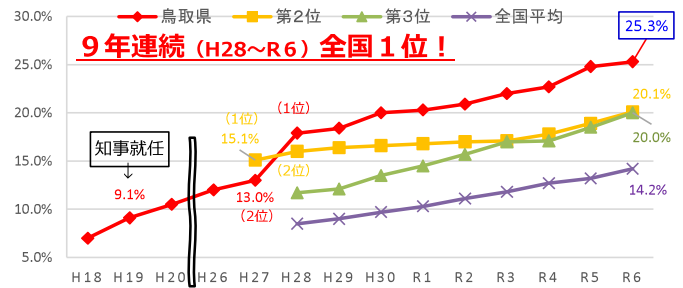
- ▶ 都道府県の管理職の男女比……………1位
- ▶ 都道府県審議会委員の男女比……………6位
- ▶ 都道府県防災会議の男女比……………4位
- ▶ 都道府県職員の育休取得率の男女格差……………2位
- ▶ 都道府県庁の大卒程度採用の男女比……………1位

教育🏆全国5位

- ▶ 小学校の校長の男女比……………6位
- ▶ 都道府県教育委員会委員の男女比……………1位
- ▶ 都道府県教育委員会事務局の管理職の男女比……………2位
- ▶ 四年制大学進学率の男女差……………2位

女性活躍機会を拡大（県庁から県内企業へ波及）

県職員の女性管理職を積極登用



鳥取県庁での新たな取組

R7.4.1～特定の職種の人材確保のため「鳥取方式短時間勤務正職員」の採用

全国初

保育士等特定の資格を有し、育児、介護等の理由により、フルタイムでの勤務が難しい会計年度任用職員を対象に採用試験を実施
令和7年4月1日採用：4名（保育士、歯科衛生士、臨床心理士）

※今後、短時間正職員を希望する特定の資格を有する会計年度任用職員への選考試験を引き続き実施するほか、公募採用も行う。

R7.4.1～県庁組織に知事直轄「男女協働未来創造本部」（本部長：部長級）設置

全国初

施策立案機能の本庁組織「女性応援課」と、住民活動拠点機能の「男女共同参画センター」を一体化

企業や地域などで「働きづらさ」や「暮らしづらさ」の声を基にアンコンシャス・バイアス解消を目指した県民運動を展開

若者目線や働く女性の声を反映し、職場・地域で女性が働きやすく暮らしやすい環境づくりを進め、「女性が定着する地域づくり」へ

若者・女性にも選ばれる鳥取県を目指して②

男女共同参画推進に取り組む県内企業

鳥取県男女共同参画推進企業 1,100社（R7.3月末）

性別に関わりなく働きやすい職場環境づくりに積極的な企業

株式会社フィディア（米子市/建設業）

多様な人材が活躍



従業員の個性・多様性を尊重した
ダイバーシティ経営を実践



輝く女性活躍パワーアップ企業 375社（R7.3月末）

イクボス・ファミボス宣言企業 936社（R7.3月末）

女性管理職30%以上目標に向けて行動計画を定めて取り組む企業や、従業員の育児や介護と仕事との両立を応援する「宣言」をした企業

FDK株式会社鳥取工場（岩美町/製造業）

女性登用に向けた人材育成研修や
休暇制度充実など、従業員の仕事
と家庭の両立を推進



「宣言」を確認する工場長と従業員



官民一体で女性活躍推進「女星活躍とっとり会議」

経済団体・行政等が一丸となり、女性活躍を推進
女性活躍の後押しとして、男性従業員の育児休業
取得促進も議論 ⇒第2次女性活躍推進計画を改訂

「イクボス・ファミボス」普及拡大、女性リーダーの育成等実施

女性リーダーの育成支援

女性従業員が能力を発揮するための実践セミナーや先輩管理職との交流会

女性従業員のネットワークづくり支援

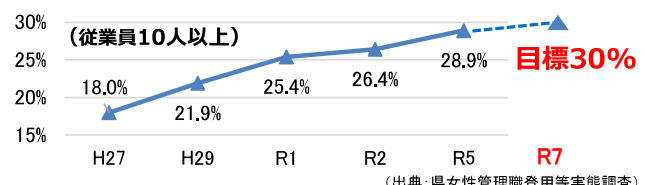
女性従業員が女性経営者や管理職との交流会で悩み共有や解決のヒントを探る

都道府県版ジェンダー・ギャップ指数2025

経済🏆全国2位

- ▶ 就業率の男女差……………4位
- ▶ フルタイム従事者の男女比……………6位
- ▶ フルタイム従事者の男女賃金格差……………7位
- ▶ 共働き家庭の家事・育児等時間の男女差……………5位
- ▶ 企業や法人の役員・管理職の男女比……………13位

県内企業の管理的地位の女性割合が上昇



R7.4.22、県内就職する学生の奨学金返還助成に当たり商工団体と協定締結

全国初

「未来人材育成奨学金支援助成金」制度を平成27年に創設、産業界と協力して県内に就職する学生等の奨学金返還を助成
若者の県内就職促進・定着や、アンコンシャス・バイアス解消など誰もが働きやすい職場環境づくりに向けて商工団体と協定を締結
令和8年度以降の県内就職者においては対象職種を全業種に拡充し、IJUターン及び産業人材の確保を強力に推進